

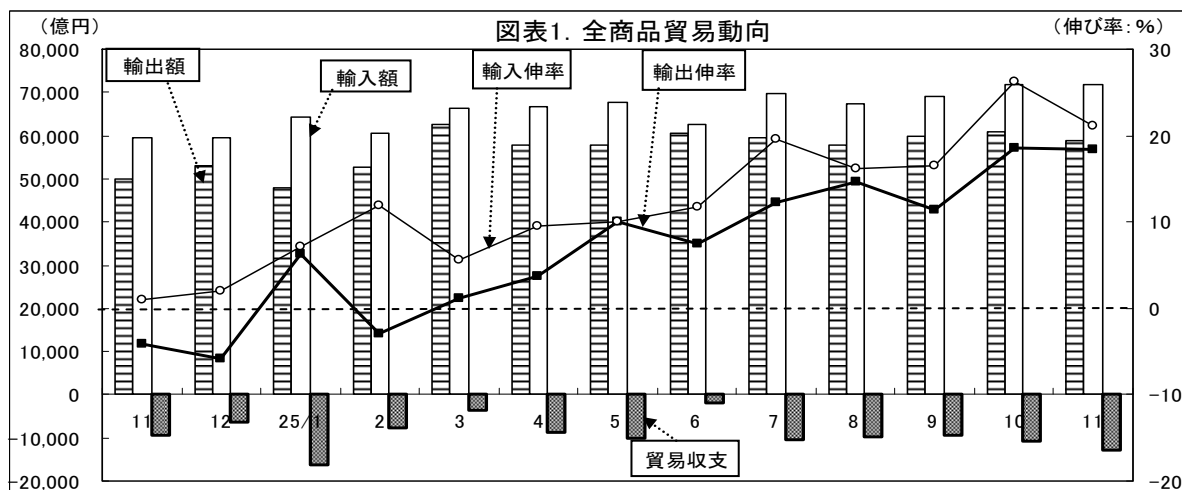
最近の機械貿易動向(11月)～機械輸出、4ヶ月連続二桁増、為替要因除き2ヶ月連続増～

日本機械輸出組合 2014.1. 21.

平成 25 年 11 月の機械輸出額は 3 兆 8,409 億円、対前年同月比 18.7%増と 7ヶ月連続でプラスとなった。これは、①円安によって円建て輸出額が増加したこと、②米欧を中心に全ての地域向けでプラスになったこと、③機械輸出額の約 36%を占める自動車の伸びが 25.5%増となったことに加え、産業機械等が二桁増になったことなどによる。為替・営業日が 9.4%の増加要因であったことを考慮すると、実質的な伸び率は 9.3%増と 2ヶ月連続増となった。12月も円安が続き、営業日が前年と同じことから、合計 14.4%の増加要因となる。仮に 11 月の機械輸出額の実質的伸び(9.3%増)が続くとすれば、前年比 23.7%増と予想されたが、1月 14 日発表の貿易統計速報によれば、12 月上中旬の全商品輸出の伸びは 18.9%増であった。

1. 全商品貿易動向～輸出は 5ヶ月連続で二桁増、貿易収支は 17ヶ月連続で赤字～

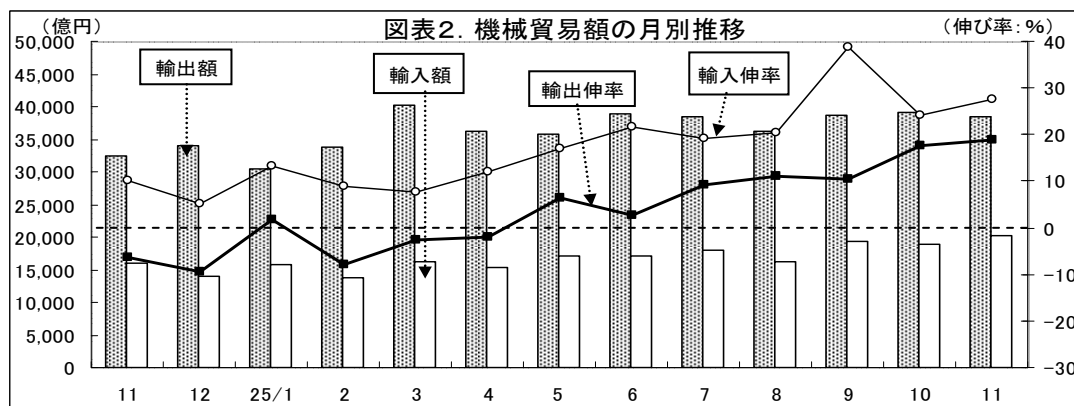
- 1) 平成 25 年 11 月の全商品輸出額は 5 兆 9,004 億円、前年同月比(以下同じ)18.4%増と 9ヶ月連続でプラスとなった(10月 18.6%増)。これは円高是正による輸出額の拡大と全輸出額の約 24%を占める自動車・同部品等輸送用機器(25.6%増)、約 11%を占める化学製品(21.3%増)等の増加が寄与した。
- 2) 輸入額は 7 兆 1,945 億円、21.1%増と 13ヶ月連続のプラスとなった(10月 26.2%増)。これは、円高是正効果に加え、全輸入額の約 33%を占める原油等鉱物性燃料(30.6%増)、約 14%を占める電子部品等電気機器(22.6%増)、航空機類(3.4 倍)増加したためである。
- 3) この結果、輸出額から輸入額を差し引いた貿易収支は 1 兆 2,941 億円の赤字で、昨年 7 月以降 17 ヵ月連続で、11 月としては 1979 年以来最大の赤字となった。



2. 機械貿易動向

(1) 機械輸出入動向～機械輸出 4ヶ月連続二桁増、輸入は 15ヶ月連続で増加～

- 1) 全商品輸出額の約 65%を占める 11 月の機械輸出額は 3 兆 8,409 億円、18.7%増と 4ヶ月連続で 10%以上の伸びとなった(10月 17.5%増)。しかし、輸出額の水準は、リーマンショック前(平成 19 年 11 月)と比べると 76.4%となり、前月より 0.5 ポイント回復した(10月 75.9%)ものの、低い水準に止まっている。
- 2) 一方、全商品輸入額の 28%を占める機械輸入額は、2 兆 280 億円、27.5%増と 15ヶ月連続の増加で、ここ 4ヶ月は 20%を超える高い水準となっている(10月 24.0%増)。また、輸入額の水準は、リーマンショック以前の 116.8%と 8 ヵ月連続して上回っている(10月 106.3%)。

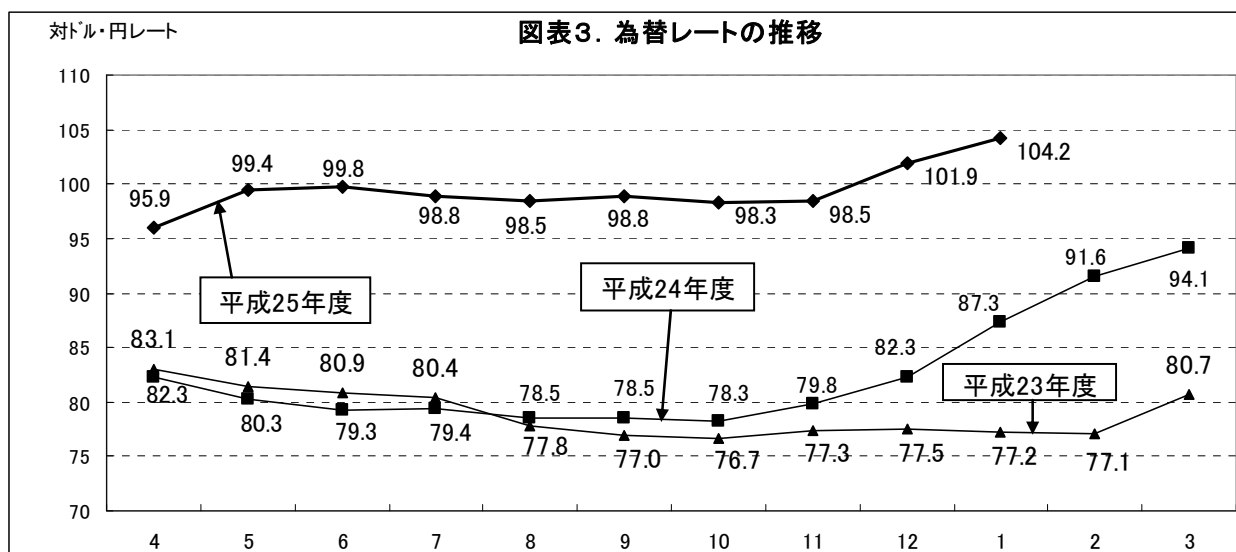


(2) 為替動向・営業日～11月は9.4%の増加要因、12月は14.4%の大幅増加要因～

1) 11月は1ドル＝98.5円と円高是正が続く、前年に比べ**23.4%の円安**となった。また、対ユーロも**133.8円**と前年に対して**30.2%の円安**が進展し、合わせて約**14.2%の為替増加要因**となった。営業日は前年に対して1日少ないため**4.8%の減少要因**となり、合計**9.4%の増加要因**となる。11月の輸出額は18.7%増であったことから、**実質的伸び率は9.3%増**と2ヶ月連続してプラスとなった(10月2.1%増)。

2) 12月は1ドル＝101.9円と円高是正傾向が続く、前年に比べ**23.8%の円安**となった。また、対ユーロでは**138.6円**で前年に対し**30.0%の円安**となり、合わせて約**14.4%の為替増加要因**となった。営業日は前年と同じため、合計**14.4%の増加要因**となる。

3) 平成26年1月は、対ドルが1月20日17:00時点の**104.2円**とすれば、前年に対して**19.4%の円安**、また、対ユーロも**141.1円**と**23.1%の円安**となり、合わせると約**11.7%の為替増加要因**となる。営業日は前年と同じため、合計**11.7%の増加要因**となる。



(3) 地域別動向～中国向け大幅増、北米、EU 向けも20%以上の増加～

1) 機械輸出額の地域的動きをみると、①機械輸出額の17.8%を占める**中国向け**では、自動車(2.6倍)、半導体製造装置等産業機械(48.9%増)等が大きく伸び、**41.5%増**となった。②25.5%を占める**北米向け**では、全体の約53%を占める自動車(29.2%増)、建設機械(30.7%増)が増加して**22.4%増**、③11.1%を占める**EU向け**は、全体の約31%を占める自動車(19.0%増)をはじめ、18%の産業機械(19.5%増)、白物家電等軽電気機械(32.8%増)、分析・試験・検査機等軽機械(19.0%増)が大幅にプラスとなり、**20.4%増**と6ヶ月連続でプラスとなった。④27.2%と最大輸出先の**NIES/ASEAN向け**では、韓国(11.2%増)が7ヶ月連続、ベトナム(26.8%増)が4ヶ月連続、シンガポール(42.2%増)が2ヶ月連続で二桁増加となり、業種では、産業機械(19.3%増)、自動車(3.8%増)、電子デバイス(5.0%増)等が増加して**11.3%増**となった。⑤18.3%を占める**その他地域向け**は、インド(21.0%減)が大幅減となったものの、アフリカ(52.9%増)、中近東(24.6%増)が大幅増となり、機種では、全体の約60%を占める自動車(12.6%増)、建設機械(13.8%増)等が大幅にプラスとなって**7.2%増**となった。

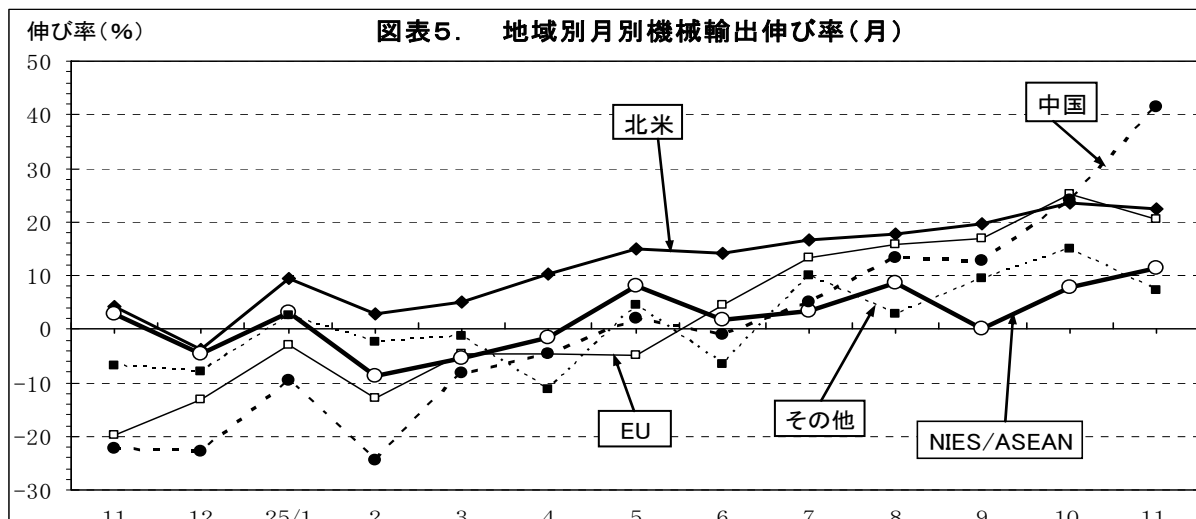
2) また、リーマンショック前の平成19年11月の地域別輸出額と比較すると、中国(108%)はプラスとなったものの、北米(85%)、NIES/ASEAN(82%)、その他地域(60%)、EU(54%)は、いずれも水準以下であった。

図表4. 最近の地域別機械輸出動向

(単位: 億円)

	2013/9			2013/10			2013/11			対07年 11月比
	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	
全世界計	38,578	10.3	100	39,107	17.5	102	38,409	18.7	100	0.76
北米	9,376	19.6	24.3	9,736	23.6	25.3	9,811	22.4	25.5	0.85
EU	4,547	16.9	11.8	4,490	25.1	11.7	4,262	20.4	11.1	0.54
NIES/ASEAN	10,279	0.1	26.6	10,487	7.9	27.3	10,464	11.3	27.2	0.82
中国	6,463	12.7	16.8	6,704	24.1	17.5	6,837	41.5	17.8	1.08
その他	7,914	9.4	20.5	7,690	15.0	20.0	7,035	7.2	18.3	0.60

は、2ヶ月連続で前年比10%以上プラス。



図表6. NIES/ASEAN・その他地域向け機械輸出の推移(月別)

(金額単位: 億円)

国名	2013/8		2013/9		2013/10		2013/11	
	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率
韓国	1,974	32.3	1,939	18.6	2,048	29.5	1,742	11.2
台湾	1,564	2.5	1,504	▲ 6.2	1,549	1.0	1,697	22.7
香港	1,593	9.8	1,648	10.5	1,622	12.8	1,665	7.2
タイ	1,770	▲ 0.8	1,721	▲ 14.2	1,710	▲ 12.5	1,768	▲ 6.1
シンガポール	848	14.1	830	4.7	808	17.5	992	42.2
インドネシア	893	9.4	877	▲ 5.3	881	9.4	838	10.1
マレーシア	629	▲ 10.0	703	▲ 8.2	774	0.0	703	13.2
フィリピン	506	1.5	532	▲ 4.5	534	5.3	496	▲ 0.7
ベトナム	423	19.2	429	15.6	455	39.5	456	26.8
その他地域								
中南米	1,840	▲ 10.0	2,422	10.7	2,459	19.4	1,957	▲ 2.5
中近東	1,430	16.2	1,753	21.5	1,755	19.2	1,831	24.6
大洋州	1,137	8.8	1,155	▲ 8.9	1,103	8.0	1,066	▲ 4.4
ロシア東欧等	1,160	2.6	1,310	20.6	1,410	29.9	1,043	4.8
アフリカ	642	20.9	801	9.8	602	5.4	703	52.9
インド	365	▲ 13.0	394	▲ 4.2	337	▲ 16.1	316	▲ 21.0

は、2ヶ月連続で前年同月比プラス(10%以上)

(4) 業種別動向～19 業種中 1 業種がマイナス、自動車は 8 ヶ月連続、産業機械は 7 ヶ月連続プラス～

- 業種別では、前月と同様に全 19 業種中 1 業種がマイナスであった。全体の約 36%を占める自動車(25.5%増)が 8 ヶ月連続、約 17%の産業機械(21.2%増)が 7 ヶ月連続でプラスとなったほか、繊維機械が 10 ヶ月連続、電子計算機が 6 ヶ月連続、通信機械も 4 ヶ月連続で二桁増となった。
- この結果、リーマンショック前の水準を超えたのは医療機械、ベアリング、光学機械の 3 業種で、電子計算機は 30%台、民生用電子機械は 40%台、通信機械、産業車両は 50%台の低い水準に止まっている。

図表7 上位19業種の輸出額の動き

(単位: 億円、%)

2013/9				2013/10				2013/11				対07/11
機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	
自動車	13,946	22.1	36.2	自動車	14,241	26.9	36.4	自動車	13,916	25.5	36.2	0.77
産業機械	6,196	12.2	16.1	産業機械	6,325	16.3	16.2	産業機械	6,404	21.2	16.7	0.90
電子デバイス	3,052	1.3	7.9	電子デバイス	3,109	9.6	8.0	電子デバイス	2,866	3.6	7.5	0.66
軽電気機械	2,039	5.3	5.3	軽電気機械	2,041	20.0	5.2	軽電気機械	1,962	16.8	5.1	0.74
重電気機械	1,850	4.1	4.8	重電気機械	2,023	13.7	5.2	重電気機械	1,864	12.8	4.9	0.84
民生用電子機械	1,786	▲ 1.0	4.6	民生用電子機械	1,781	6.1	4.6	民生用電子機械	1,600	6.0	4.2	0.41
軽機械	1,418	5.6	3.7	軽機械	1,461	17.7	3.7	軽機械	1,500	20.7	3.9	0.82
光学機械	1,397	▲ 1.3	3.6	光学機械	1,388	0.7	3.5	光学機械	1,389	7.6	3.6	1.05
船舶	1,309	▲ 13.7	3.4	船舶	1,285	9.4	3.3	船舶	1,365	18.2	3.6	0.71
建設機械	955	▲ 7.0	2.5	建設機械	892	15.6	2.3	建設機械	921	26.8	2.4	0.70
工作機械	715	▲ 15.5	1.9	工作機械	662	▲ 21.6	1.7	工作機械	678	▲ 12.9	1.8	0.76
通信機械	635	44.6	1.6	通信機械	576	48.6	1.5	通信機械	530	34.4	1.4	0.54
電子計算機	520	29.9	1.3	電子計算機	440	16.9	1.1	電子計算機	489	21.5	1.3	0.39
医療機械	399	4.0	1.0	医療機械	390	16.9	1.0	医療機械	395	21.6	1.0	1.70
ベアリング	368	5.7	1.0	ベアリング	358	18.1	0.9	ベアリング	387	19.7	1.0	1.11
陸用内燃機関	336	3.0	0.9	陸用内燃機関	354	10.0	0.9	陸用内燃機関	329	5.1	0.9	0.80
繊維機械	211	34.1	0.5	繊維機械	228	31.0	0.6	繊維機械	237	53.0	0.6	0.87
農業機械	155	2.1	0.4	農業機械	165	14.4	0.4	農業機械	163	10.5	0.4	0.83
産業車両	120	▲ 6.6	0.3	産業車両	132	3.0	0.3	産業車両	123	6.2	0.3	0.54
19業種合計	37,407		97.0	19業種合計	37,850		96.8	19業種合計	37,117		96.6	0.75

は2ヶ月以上連続で10%以上増加。・民生用電子機械: デジカメ、TV、部品。電子計算機: パソコン、HDD、プリンター等部品。

軽電気機械: 白物家電、電子計測器。軽機械: 分析器。光学機械: 光学材料、カメラ。

(5)機種別動向～半導体製造装置等が大幅増加、工作機械は大幅減～

- 1) 11月で10%以上の伸び率を示した機種は、①NIES/ASEAN、中国向け**半導体製造装置**(117.7%増)、②中国、その他地域向け**繊維機械**(53.0%増)、③中国、北米、NIES/ASEAN 向け**産業用ロボット**(41.6%増)、④中国、NIES/ASEAN 向け**通信機械**(34.4%増)、⑤北米、その他地域向け**乗用車**(34.1%増)、⑥北米、その他地域向け**建設機械**(26.8%増)、⑦NIES/ASEAN、中国向け**バルブ・コック**(25.8%増)、⑧NIES/ASEAN 向け**運搬機械**(24.2%増)、⑨北米向け**TV**(22.0%増)、⑩NIES/ASEAN、中国向け**電気・電子計測器**(21.9%増)であった。
- 2) 一方、最も落込み幅が大きいのが、工作機械(12.9%減)で、10ヶ月連続二桁のマイナスあった。

図表8. 伸び率上位機種(月50億円以上、前年比伸び率10%以上、10機種以内) (単位: 億円)

2013/9			2013/10			2013/11		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
通信機械	635	44.6	原動力機械	545	51.0	半導体製造装置	1,126	117.7
繊維機械	211	34.1	半導体製造装置	960	50.6	繊維機械	237	53.0
乗用車	8,199	33.9	通信機械	576	48.6	産業用ロボット	116	41.6
風水力機械	739	30.9	運搬機械	266	42.5	通信機械	530	34.4
電子計算機	520	29.9	乗用車	8,332	34.9	乗用車	8,303	34.1
原動力機械	501	29.5	繊維機械	228	31.0	建設機械	921	26.8
電池	221	27.1	電池	227	27.9	バルブ・コック	372	25.8
運搬機械	236	18.9	バルブ・コック	387	25.9	運搬機械	295	24.2
半導体製造装置	941	16.8	産業用ロボット	119	23.9	TV	99	22.0
産業用ロボット	110	15.9	TV	94	22.6	電気・電子計測器	391	21.9
機種合計	12,313	31.9%	機種合計	11,734	30.0%	機種合計	12,390	32.3%

は、2ヶ月連続で上位機種・機種合計の%は輸出額に占める割合

図表9. マイナス伸び率上位機種(月3億円以上、10%減以上、10機種以内) (単位: 億円)

2013/9			2013/10			2013/11		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
発電機	91	▲ 25.7	工作機械	662	▲ 21.6	工作機械	678	▲ 12.9
デジカメ・ビデオ	565	▲ 21.5	エアコン	8	▲ 18.4	機種合計	678	1.8%
工作機械	715	▲ 15.5	金属加工機械	313	▲ 16.5			
時計	96	▲ 14.7	機種合計	983	2.5%			
船舶	1,309	▲ 13.7						
機種合計	2,776	7.2%						

は、2ヶ月連続でマイナス上位10位内

(6)機械輸入動向～携帯電話、電子デバイス、電子計算機、航空機類、自動車部品が大幅増～

- 1) 11月の機械輸入伸び率は27.5%増と15ヶ月連続でプラスとなり、円高是正効果と国内需要増を反映して高い伸びとなった。これは、最大輸入機種となった携帯電話(15.7%増)に加え、電子デバイス(37.0%増)、電子計算機(24.0%増)、航空機類(3.4 倍)、自動車部品(40.7%増)、白物家電(23.4%増)、医療機械(35.7%増)、民生用電子部品(25.9%増)、TV(43.6%増)の二桁以上の増加が寄与したためである。他方、上位12機種で減少したものはなかった。
- 2) なお、輸入額が輸出額を上回っている機種は携帯電話、電子計算機、白物家電、医療機械、TV、時計、ラジオ、録画・再生機器、写真機となっている。
- 3) 地域別機械輸入額は、全体の44%を占める中国(24.7%増)、北米(73.3%増)、ASEAN(24.8%増)、EU(12.0%増)、韓国・台湾(13.7%増)の順となっている。

図表10. 機械輸入額上位12機種 (単位: 億円、%)

2013/9				2013/10				2013/11			
機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア
携帯電話	2,571	101.5	13.3	電子デバイス	2,319	51.5	12.3	携帯電話	2,240	15.7	11.0
電子デバイス	2,377	58.8	12.3	電子計算機	2,019	10.8	10.7	電子デバイス	2,140	37.0	10.6
電子計算機	1,814	28.5	9.4	携帯電話	1,714	30.8	9.1	電子計算機	1,949	24.0	9.6
自動車部品	967	46.1	5.0	自動車部品	1,023	42.6	5.4	航空機類	1,181	240.4	5.8
乗用車	834	22.8	4.3	乗用車	915	24.7	4.9	自動車部品	1,017	40.7	5.0
航空機類	696	22.1	3.6	白物家電	642	22.0	3.4	乗用車	921	5.6	4.5
白物家電	598	30.2	3.1	医療機械	634	25.2	3.4	白物家電	728	23.4	3.6
医療機械	565	22.9	2.9	民生用電子部品	403	23.5	2.1	医療機械	673	35.7	3.3
分析・試験・検査機	425	51.4	2.2	光学機械	398	12.5	2.1	民生用電子部品	373	25.9	1.8
民生用電子部品	358	33.0	1.9	分析・試験・検査機	341	21.2	1.8	光学機械	362	4.9	1.8
光学機械	346	0.0	1.8	航空機類	312	▲ 18.7	1.7	分析・試験・検査機	347	6.7	1.7
時計	280	42.8	1.4	時計	301	8.0	1.6	TV	313	43.6	1.5
12機種合計	11,831		61.2	12機種合計	11,021		58.5	12機種合計	12,244		60.4

は対前年比が2ヶ月連続で10%以上増加。白物家電: 民生用電気機械